

プロジェクトGAMは、“水環境分野の学の研究内容を体系的にマッピング”し、産官学の連携を強化することを目的としたプロジェクトです。

GAM（ギャム）は、Gesuido Academic Mapping という造語の略称です。

## 背景と目的

- 土木学会環境工学委員会及び水環境学会等に豊富な研究論文があるが、具体事業と結びつきが弱い

### 行政

- 学との連携不足
- 全国的な学の知識やイノベーションを知らない
- 探せない
- 活用方策がわからない

### 学

- 行政ニーズがわからない
- 論文が社会実装面で低評価
- 学生人気減少
- 実験フィールドが探せない

- 土木学会環境工学委員会（H27.11）の行政（国土交通省）からの問題意識に多くの委員等が賛同
- 学会として、一年以内に既存の知識体系を行政とのマッチング・活用できるような形で構築し、H28.12の土木学会環境工学委員会で提示することを目標に検討開始。 ← 国土交通省が支援。

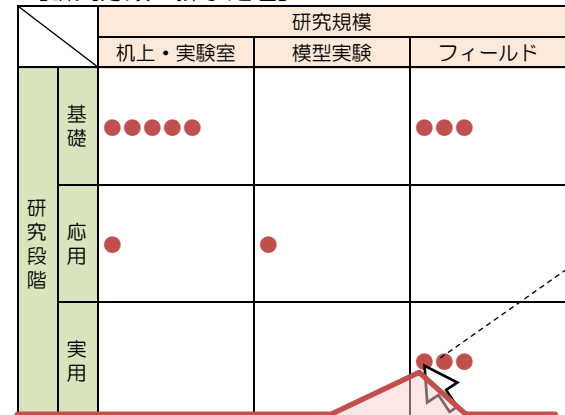
- 現在、学の情報の登録ページを暫定的に整備済み

2016/12/7 公開予定

## アウトプットイメージ

同じ「研究分類」で表示した場合  
（横軸：研究規模、縦軸：研究段階でマッピング）

【研究分類：排水処理】



カーソルを合わせると内容を表示

### MBRにおける窒素除去の効率化・省エネ化

研究者 木村 克輝  
共同研究者 -  
共同研究機関 -  
研究分類 排水処理  
キーワード 膜分離活性汚泥法、窒素、省エネ、汚泥循環

研究規模	机上・実験室	模型実験	フィールド実証	その他
実績			○	
今後の可能性				実機実証実験

研究段階	基礎	応用	実用
実績			○
今後の可能性			○

■ 暫定版の登録ページを整備済み。水環境分野の学の情報を集めていますので、ご登録をお願いします。

## 研究者情報

■ 研究者情報登録サイト(暫定)に下記のURLまたはQRコードを用いてアクセスしてください。

<http://goo.gl/forms/PDfGu4PnJBuEWkBr2>



## 研究テーマ情報

■ 研究者情報登録サイト(暫定)に下記のURLまたはQRコードを用いてアクセスしてください。

<http://goo.gl/forms/NX5k9QGrlzniaZ0v2>



■ 登録画面イメージです。

(Mac OS X El Capitan環境下、Safariを用いてアクセスした例)

### 研究者情報入力

\*必須

1. 姓名を入力してください。姓と名の間には全角スペースを1つ入れて下さい。\*

(入力例: 下木 きよし)

回答を入力

2. 姓名のふりがなを、ひらがなで入力してください。姓と名の間には全角スペースを1つ入れて下さい。\*

(入力例: しもみず きよし)

回答を入力

3. 生まれた年(西暦)を半角数字4桁(yyyy)で入力してください。

(入力例: 1967)

■ 登録画面イメージです。

(Mac OS X El Capitan環境下、Safariを用いてアクセスした例)

### 研究テーマ情報入力

\*必須

1. 研究テーマを入力して下さい。\*

地方公共団体等の職員が見るので、日本語での入力をお願いします。英文タイトルである場合は、原文を併記いただいても構いません。

回答を入力

2. 研究者(代表者)の氏名を入力して下さい。姓と名の間には全角スペースを1つ入れて下さい。\*

共同研究者(最大3名まで)の氏名は次の入力欄に入力をお願いします。

回答を入力

3-1. 共同研究者1の氏名を入力して下さい。姓と名の間には全角スペースを1つ入れて下さい。

長期に渡る研究で共同研究者が多い場合は、最近の共同研究者名としてください。最近の研究でも共同研究者が多い場合は代表者を選んで入力して下さい。並びきれない場合などは、「14」の数字を入力し、その後の入力欄にこの項目は共同研究者として入力して下さい。

■ 上記URLにアクセス出来ない場合や登録した内容を修正したい場合の連絡先: [kanemori@ctie.co.jp](mailto:kanemori@ctie.co.jp)

■ 本プロジェクトに関する国土交通省への問合せ先: 下水道部流域管理官付GAM担当 TEL:03-5253-8432

# 登録する情報と表示イメージ(研究者情報)

## ■「学(研究者情報)」に登録する情報

項目	記入方法等	(入力例)	
		姓	名
氏名	姓と名の間には、半角スペースを入力	下水	清
ふりがな	同左	しもみず	きよし
生年	西暦 半角数字4桁(yyyy)で入力	1969	
所属(主な)	大学・学部・学科等 (兼務している場合、主な所属を記載) スペースは開けず詰めて入力	A大学大学院B研究院C部門D研究室	
所属機関所在地: 都道府県	選択肢	青森県	
所属機関所在地: 市町村	名称を入力	B市	
役職	教授 准教授 助教 その他	教授	
連絡先: e-mail	英数半角で入力	t-gesuidou@auniv.ac.jp	
連絡先: TEL	半角数字 局番の間はハイフン(半角)でつなぐ。直通番号を入力する。直通番号がなければ代表番号を入力。 内線番号がある場合は続けて(nnn)のように入力。 携帯の場合は012-3456-7891のように3桁-4桁-4桁で入力。	01-2345-6789	
主な経歴(リンク)	大学の研究者情報のHPまたは既往の研究者DB(researchmap)等のURLを記載	http://www.auniv.ac.jp/labo/sewer/	
出身地	自由記入(都道府県または市町村の公表してもさしつかえないところまで)	宮城県	
趣味	自由記入	山登り	
自由コメント	自由記入	近年は〇〇〇の研究に取り組んでいます。〇〇〇に関する共同研究、試料提供を求めています。	

研究者情報表示イメージ

## <研究者情報表示画面>

**氏名** 木村 克輝

ふりがな きむら かつき

生年 1969

所属 北海道大学大学院工学研究院  
環境創生工学部門

所在地 北海道札幌市

役職 准教授

e-mail kkatsu@eng.hokudai.ac.jp

TEL 011-706-6271

研究分野 排水処理

主な経歴 <http://researchers.general.hokudai.ac.jp/profile/ja.sMuqp2D-7pZcwPRd5TYoKA==.html>

**写真**

■実下水を用いたパイロット・実機スケール実験を希望します。  
(MBRにおける窒素除去の効率化・省エネ化) [2016.X.X]

■実機スケールの連続実験により、本法による省エネ効果を定量的に実証したいと考えています。  
(MBRにおける効率的膜洗浄方法の開発) [2016.X.X]

**研究テーマ**

研究テーマ	研究段階			研究PR	自治体への要望	論文等	最終更新日
	基礎	応用	実用				
<a href="#">MBRにおける窒素除去の効率化・省エネ化</a>			■	○	○	<a href="#">X件</a>	2016.X.X
<a href="#">MBRにおける効率的膜洗浄方法の開発</a>			■	○	○	<a href="#">X件</a>	2016.X.X
<a href="#">下水の直接曝過による有機物回収</a>			■	○	○	<a href="#">X件</a>	2016.X.X

**閲覧状況**

**<閲覧数の推移>**

年	閲覧数
2010	300
2011	732
2012	963
2013	1165
2014	1296
2015	1800

**<閲覧数とその属性>**

属性	閲覧数	割合
研究機関	530	29%
コンサルタント	450	25%
産業界	280	16%
その他	60	3%
行政	480	27%
<b>総計</b>	<b>1,800</b>	<b>100%</b>

## 「学(研究テーマ情報)」に登録する情報

①	研究テーマ					
②	研究者氏名 (全角、ただし姓名の間は半角スペース)	姓	名			
③	共同研究者氏名 (最大3人) ※任意入力	姓	名			
		姓	名			
		姓	名			
④	研究分類(1つ) 研究分類表から選択					
⑤	研究キーワード(最大6つ) 研究キーワードの例から選択または任意入力					
⑥	研究規模(実績) 該当:1 ※複数選択可	机上・実験室	模型実験	フィールド実証	その他	
⑦	研究段階(実績) 該当:1 ※複数選択可	基礎	応用	実用		
⑧	研究概要 (研究の具体的な規模、内容等)	例) ●m3/分の河川水の直接浄化を模型実験により検証				
⑨	研究規模 (今後の可能性) 該当:1 ※複数選択可	机上・実験室	模型実験	フィールド実証	その他	
⑩	研究段階 (今後の可能性) 該当:1 ※複数選択可	基礎	応用	実用		
⑪	研究PR (行政に向けてPR)	例) 河川水 ●m3/円程度の初期費用で実施が可能です。				
⑫	自治体への要望 (共同研究等) 該当:1 ※複数選択可	共同研究	フィールド提供	試料提供	実測データ提供	
		技術展示	その他			
	要望の具体的な内容	例) 河川の直接浄化を行う実験フィールドを探しています。				
⑬	共同研究機関	有・無				
		機関分類				
		機関名				
上記研究テーマに関する研究論文について						
No	⑭研究論文名	⑮研究発表年 西暦、半角(yyyy)	⑯研究情報のリンク (学会誌への掲載、公表データ等があれば、URLを記載)			
No1						

## 研究テーマ情報表示イメージ

## ＜研究テーマ情報表示画面＞

### MBRにおける窒素除去の効率化・省エネ化

研究者 木村 克輝  
共同研究者 -  
共同研究機関 -

研究分類 排水処理  
キーワード 膜分離活性汚泥法、窒素、省エネ、汚泥循環

研究規模	机上・実験室	模型実験	フィールド実証	その他
実績			○	
今後の可能性				実機実証実験

研究段階	基礎	応用	実用
実績			○
今後の可能性			○

### 研究概要

浸漬型 MBR に仕切板を挿入し、汚泥循環無しで効率的に窒素除去を達成できることを実証。

### 研究PR

高エネルギー消費が課題となっている MBR の省エネ化を達成する方法です。従来の MBR で総エネルギー消費の 10-15% を占めるとされる汚泥循環をしなくても窒素除去を達成できます。

### 自治体への要望

共同研究	○	実下水を用いたパイロット・実機スケール実験を希望します。
フィールド提供	○	
試料提供		
実測データ提供		
技術展示		
その他		

### 論文等

論文名	発表年	URL
論文名 1	20XX	○
論文名 2	20XX	○
論文名 3	20XX	○
論文名 4	20XX	○
論文名 5	20XX	○